



SNSで旬な情報を  
投稿しています



YouTube



Instagram



LINE



# J.A.しまねびより



2026

# 4

April  
Vol.121

みーつけたしまねの  
ファーマーズ

Shimane farmers

**岩元 進**さん

いわみ中央地区本部



## 特集 金融犯罪に注意！！

～巧妙化する手口にご用心～



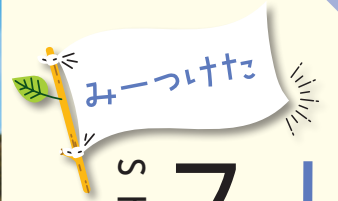
J.A.しまね 西いわみ地区本部版



©よい食P



こくしょうこくさん



# しまねの ファーマーズ

SHIMANE FARMERS



約1ヘクタールでタマネギを栽培する

**水田園芸の一環として  
タマネギ栽培に挑戦**  
指定野菜であるタマネギは、島根では出雲市の斐川など平野部での栽培が盛んです。浜田市の上府農事組合法人は大規模産地ではありませんが、反収で県下3位を誇ります。上府地区では、高齢化が進む中、圃場整備をきつかけに令和3年に農事組合法人が設立されました。大型機械を使った効率の良い米づくりが



5月頃に収穫期を迎える（写真は昨年のも）

始まりましたが、年間の収支が赤字になることが問題に。そこで県の普及員とJAのサポートで水田園芸をスタートしました。担当することになったのは、同法人野菜部の岩元進さん。初年度は試験的にアスパラガスのハウスを建てましたが、完成してすぐに大風で倒壊。やむなく露地で始めるも、病気が発生し全滅してしまいました。組合法人のメンバーが落胆ムードに包まれる中、気持ちを切り替えて着手したのがタマネギです。



タマネギの生育を確認する岩元さん

かみこう  
上府農事組合法人

岩元 進さん

今月はいわみ中央地区本部。浜田市の上府農事組合法人でタマネギなどの水田園芸を担当する岩元さんにお話を伺いました。



## 試行錯誤し収量アップ

専門の普及員が肥料選びや畝作りなどを徹底サポート。「長年米づくりをしておりタマネギは初めて。右も左もわからない中で実践しながら学んでいたので、とても助かりました」と岩元さん。最初の年は畝の高さ調整など定植時に手直しが多く、また肥料のバランス調整がうまくいかず、「雨が多かったこともあり思うような収量になりませんでした。

そこで品種を晩生の「もみじ3号」から早生の「七宝早生」・中生の「ターザン」に変更。上府地区の環境に合ったこと、そして岩元さんたちの努力によって順調に育ちました。また2年目からJAが新しい乗用型の移植機を導入したことで作業がスムーズに。手押しタイプの機器を使っていた1年目より効率がグンと上がり、今では1ヘクタールの植え付けが1日で終わるようになりました。3年目からは整地や畝作り

もほとんど手直しなしで終えられ、現在の収量は1年目の倍近い約5トンにまで増えています。



上府農事組合法人代表の中田善喜さん

## 丁寧な世話で大きく

### しっかりとした玉に育てる

上府農事組合法人は、中山間地では珍しい水稲・タマネギ・キャベツの2年3作に取り組んでいます。タマネギとキャベツは連作をしないことで病気のリスクを低減。秋の稲刈りが終わった11月にトラクターで圃場を整地し、乾いた土を好むタマネギのために畝を高く作って定植します。冬場は消毒や追肥でケア。水稲のために圃場整備した土地で近くの川から水を引けるようになっていたため、必要があれば簡単に灌水できるようになっています。

反収の高さとタマネギの質の良さを支えるのは、岩元さんの丁寧な仕事。毎日苗の状態を見て回ります。水稲用の暗渠排水に組み合わせているのは、畑の外周を四角い水路で取り囲む額縁明渠。土が乾燥しすぎていけば水路から水を引き込み、水揚げが悪くぬかるみそうなときは鍬を手にして臨時の排水路を作りま



法人の取り組みを話す岩元さん

れます。私だけではなく、みなさんと一緒に作っているんですよ。本当にありがたい」と感謝を口にしました。

収穫されたタマネギの多くは、選別されてから斐川町にあるJAの調整施設に送られます。選別なしでそのまま買い取ってもらえるルートも開拓しようと、加工業者への出荷も進めています。現在は邑智郡の加工業者へも出荷。「選別していない収穫したままのタマネギをコンテナごと買い取ってくれますし、取りに来てもらえるので手間も輸送料もカットできます。非常に効率がいいですね」と岩元さん。今後も一定量の生産を続けながら、加工用のニーズにも応えていきたいそうです。

### プチっと情報

岩元さんが家庭で味わってほしいのはタマネギの甘み。シンプルにいただくなら、王道のカレーがオススメだそうです。あめ色になるまで炒めてから煮込むと、市販のカレールーで作っても甘みのある奥深い味になります。



# フィッシング詐欺

フィッシング詐欺とは、JAなどを装ったメール・SNSで偽のサイトへ誘導し、重要な情報を送付させて悪用する犯罪です。



# 金融犯罪に注意!!

巧妙化する手口にご用心

近年、私たちの身近なところで金融犯罪が急増しています。中でも、フィッシング詐欺や振り込め詐欺などの「特殊詐欺」は年々手口が巧妙化し、被害者の年齢や職業を問わず多くの人々が被害に遭っています。本特集では、特殊詐欺の手口や被害事例を紹介しますので、大切な財産を守るため、ぜひ一読ください。

## フィッシング詐欺に遭わないためのポイント

JAバンクでは、メールでお客様の個人情報や重要な情報をお聞きすることは絶対にありません。

JAネットバンクを利用する際は、JAネットバンク公式サイトやJAバンクアプリプラスからアクセスしてください。また、公式サイトを事前に「お気に入り」や「ブックマーク」に登録してアクセスいただくと、より安全です。

ID、パスワードをメールで伺うことはありません。絶対に返信しないでください。



# 振り込め詐欺

振り込め詐欺とは、「オレオレ詐欺」「架空請求詐欺」「融資保証金詐欺」「還付金詐欺」などの総称です。

電話、郵便、メール等により不安をあおり、現金を指定した貯金口座に「振り込め」と指示する詐欺です。

## 詐欺に遭わないためのポイント

電話、郵便、メール等により現金を貯金口座に「振り込め」という請求に対しては、すぐに振り込まず、ご家族などに連絡を取り、本当に支払う必要のある請求か、事前に必ずご確認ください。

少しでも「なにかおかしい？」と思ったら最寄りの警察、JA支店にご相談ください。

# 警察官やJA職員等を装った詐欺



「貯金口座が不正に利用されている」「キャッシュカードが偽造されている」など、お客様の不安をあおり、代わりに貯金を取り戻すなどと持ちかけて、キャッシュカードや口座情報を入手する詐欺です。

## 詐欺に遭わないためのポイント

JA職員や警察官が、電話や店舗外などでキャッシュカードの暗証番号をお聞きすること、また、キャッシュカード自体をお預かりすることは絶対にありません。少しでも不審に思われたら、警察、お取引のあるJA支店までご相談ください。

## JAしまねの特殊詐欺防止対策

JAしまねでは、特殊詐欺被害防止対策として、以下の対応を行っております。ご不便をおかけし申し訳ございませんが、皆さまの大切な貯金を守るための取り組みである点、ご理解いただくとともに、皆さまご自身におかれましても、被害に遭わないための対策をお願いいたします。

### ATMによるお引出し・お振込みについて

- 対策1** 70歳以上かつ過去1年間のATM取引（お引出し・お振込み）1回あたりのご利用額が30万円以下のお客様については、1日あたりのご利用限度額を30万円に引き下げさせていただきます。
- 対策2** 令和8年4月1日より、ICキャッシュカードを利用したATM取引（お引出し・お振込み等）の1日あたりのご利用限度額を50万円に引き下げさせていただきます。
- ※1 ご利用限度額の変更をご希望される場合は、キャッシュカード発行の支店窓口にご相談ください。
  - ※2 令和8年4月1日以前に、ご利用限度額の変更をされているお客様については、変更の対象外となります。
  - ※3 磁気キャッシュカードおよび通帳によるATM取引ご利用限度額は、これまでとおり50万円です。

### JA個人ネットバンクについて

- 対策1** 振込・振替取引の1日あたりの限度額を100万円とさせていただきます。
- 対策2** 振込・振替およびペイジーの限度額引き上げ変更の反映を7日後としています。
- 対策3** インターネットバンクの利用停止について、JAへご連絡いただかなくても、ご自身による利用停止が可能となっております。
- 対策4** ワンタイムパスワードを取得するために必要な電話番号認証の完了後、7日間（168時間）を経過しないと、振込・振替取引が出来ません。
- 対策5** ①インターネットバンク新規ご契約、②振込・振替取引限度額引き上げについて、JA支店よりご利用意思確認を行っています。  
※ご連絡がつかない場合、一部お取引を制限する可能性がありますので、ご了承ください。

## マネロン・金融犯罪対策への取組強化について

代表理事組合長 竹下 克美

最近、様々な金融犯罪が発生し、その手法や手口も巧妙かつ高度になってきています。新聞等での報道を見て心配に感じておられる組合員・利用者の方々も多いのではないかと思います。また、国際的に金融機関が取り組まなければならない課題として、マネー・ローンダリング（マネロン）およびテロ資金供与対策の重要性が益々高まっています。マネロン・金融犯罪対策に取り組むことは、信用事業を営む当組合の責務でもあります。

当組合では、金融機関としての信頼性を確保するため、そして、お客様の大切な財産を金融犯罪からお守りするために、マネロン・金融犯罪対策の取り組みを重要な経営課題と位置づけて、一層力を入れて取り組むことといたします。

JAしまねの竹下克美組合長ら本店常勤理事は、地域の担い手・大型農業法人・集落営農組織等を訪問し、今後のJA運営に反映させるため各所で組合員の皆さまの貴重なご意見・ご要望を伺っています。

# 農業の現場から声をつなぐ

～ふれあい訪問記～

今回の訪問先

JAしまね いわみ中央地区本部管内 ● 香の宮F&A、上府農事組合法人

香の宮F&Aは江津市でハウレンソウ、小松菜などの葉物野菜をハウス栽培しています。土壌分析結果をもとに有機質肥料を使うなど土づくりに力を入れ、有機JAS認証を取得しています。当日は、大畑安夫代表が経営概要を説明。有機栽培に取り組む地域の生産者と連携して共同販売に取り組んでいること、物流コストの高騰が課題となっていることなどについて意見を交わしました。主な作物の収量が増える時期の販売対策も課題となっており、栽培品目を増やすことにも力を入れています。圃場視察では、外食産業の需要を見込んで栽培を始めたという生食用のケールのハウスを訪問しました。

上府農事組合法人は浜田市で水稲のほか、水田園芸として大豆、キャベツ、タマネギを栽培しています。上府地区で令和元年に圃場整備が始まったことをきっかけに、再び耕作放棄地が増えてはいけないと、令和3年に法人を設立しました。当日は、中田善喜代表、勝田秀幸事務局、野菜担当の岩元進さんが法人の成り立ちを説明した後、人件費や機械の経費、施設の利用料のことなど、黒字経営を続けていくにあたっての課題について意見を交わしました。当JAの日高副組合長は「タマネギ調整の経費などが大きな課題となっていることを切実な声として受け取りたい」と答えました。



生食用のケールについて大畑代表（左）から話を聞く竹下組合長



香の宮F&Aで有機JAS認証について確認する常勤役員ら



水田園芸として栽培するタマネギ



上府農事組合法人の中田代表らと意見交換

topics

1

## 人口減少に挑む 美郷町で新たな地域モデル構築へ

JAしまね、美郷町、JA全農Aコープ株式会社は2月27日、同町中心部での複合商業施設の整備に向けた包括連携協定を締結しました。同町役場で行われた協定式には、JAしまねの竹下克美組合長、嘉戸隆町長、JA全農Aコープ株式会社の山崎智弘社長が出席し、協定書に署名しました。

JAしまねは施設内に設ける産直市の運営を支援するほか、Aコープおおち店の移転後の空き店舗を活用し、農業資材や生活用品を扱う新店舗の開設も計画しています。同町は、魅力的な飲食店の誘致や天候に左右されずに利用できる屋内遊具施設などを整備し、町内外からの来訪者増加を目指します。複合施設の核となるスーパーはJA全農Aコープ株式会社が運営し、現在のAコープおおち店が移転して入る予定です。

竹下組合長は「人口減少という大きな課題に立ち向かい、様々なテーマにチャレンジしていきます」と決意を語りました。



協定を締結した竹下組合長（右）、嘉戸町長（中央）、山崎社長（左）（島根県美郷町で）

topics

2

## 令和7年産島根米求評懇談会を開催

JAしまねは3月12日、出雲市のラピタウェディングパレスで令和7年産島根米求評懇談会を開きました。関東から九州地区の主要取引先卸16社や島根県、JAなどから約60人が参加。取引先による令和7年産島根米の評価や令和8年産米の販売に向けた意見交換を行いました。

令和7年産島根米の集荷見込数量は、約30,590トン。作付面積の増加、10アールあたりの収穫量の増加等により、令和6年産と比べ1,600トン程度増加する見込みです。令和8年産は33,500トンを目標に掲げました。

取引先卸からは「島根米は品質・食味が優れ、安定している」など評価される一方、「価格の高騰により販売情勢が厳しい」といった声が多くあがりました。新品種として取り組みが進められている「島系84号」の試食も行い、粒の大きさや香り、甘みなどが高い評価を得ていました。

当JAの竹下克美組合長は「日本のお米は日本人の魂そのもの。生産者と一体となり、信頼される産地づくりに努めたい」と話しました。



主催者を代表しあいさつする竹下組合長

topics

3

## お米などを 子育て支援組織などへ贈る

JAしまねは2月から3月にかけて、県内の子ども食堂などの子育て支援組織や社会福祉協議会など83団体へ総額約823万円分のお米や商品券などを贈りました。

お米をはじめとした物価高騰の影響を受ける子育て支援組織などの活動に役立ててもらおうと実施。財源には令和7年12月末で失効したJAしまね「おさいふカード」のポイントを活用しました。

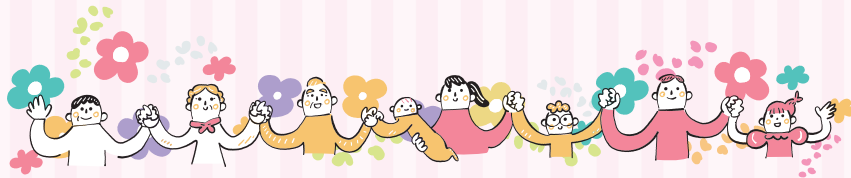
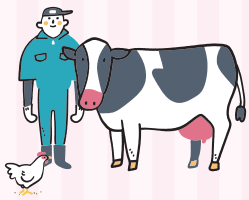
**「おさいふカード」では貯まった  
ポイントを募金・寄付できます！**

【寄付先】

- 社会福祉法人 島根県社会福祉協議会
- 公益社団法人 島根県緑化推進委員会
- 公益財団法人 ヘルスサイエンスセンター島根  
(がん対策募金)
- 島根県健康福祉部 青少年家庭課
- 特定非営利活動法人  
フードバンクしまね  
あったか元気便

こちらから寄付ができます→





# 「元気な地域」を女性部の力で!

## 隠岐どうぜん女性部

JA女性組織3カ年計画  
「『あい♡』からはじまる『元気な地域』  
をみんなの力で」の実践初年度です。

☆助けあい☆ ☆学びあい☆ ☆育てあい☆

の3つの重点テーマを掲げ活動します。

JAしまね隠岐どうぜん女性部では、「助け合い」の活動の一環として、地域の若者との交流を目的に出雲市とのコラボ企画リメイクファッションショーを開催しました。世代を超えたつながりを大切に、衣装の準備や演出を協力して行うことで自然と会話が生まれ、お互いの理解が深まりました。当日は笑顔あふれる温かな雰囲気の中で、それぞれの個性を尊重しながら発表することができました。今後も地域で支え合う活動を大切にしていきます。



# 一所懸命青年連盟

JA YOUTH

## 島根県農協青年組織協議会

地産地消に取り組み、農業を通じて、  
地域に貢献していきたい

島根県農協青年組織協議会は、県内10単組・会員632名（令和7年4月1日現在）で構成され、令和7.8年度は村上淳一会長（隠岐）のもと活動しています。

農業を通じた地域貢献をはじめ、食と農の価値向上に向けた政策提言、JA運営への参画、盟友同士の交流による研鑽、次代の担い手育成など、幅広い活動を展開しています。



その取り組みの一つが、毎年実施している「JAしまね常勤役員との意見交換会」です。各単組の意見や要望を取りまとめ、若い農業者の思いをJA常勤役員に直接伝える貴重な場となっています。意見交換会での具体的な成果として、JAしまねの定期貯金キャンペーンの賞品に盟友が生産した農産物が採用された実例もあります。

双方の意見を出し合い、様々な課題解決に向けて取り組んでいます。今後も対話を重ね、双方にとって実りある活動となるよう取り組んでまいります。

## 真夏の葉物に最適

エンサイは、別名を「アサガオナ」、または茎の中が空洞なので「クウシンサイ（空心菜）」とも呼ばれています。熱帯アジアに多く栽培されている高温多湿を好む野菜で、夏の栽培に適しています。サツマイモのように地面を覆い、つる先の柔らかい茎葉を摘み取って利用します。味が淡泊なので、肉やエビ、シイタケなどとの炒めものやごまあえに向きます。

### 【栽培時期】

高温性で発芽適温は25度前後、生育適温は25～30度です。10度以下では発芽・生育しません。主に初夏に種まきし、夏から初秋にかけて収穫します。

### 【品種】

広葉タイプと細葉タイプがあり、広葉タイプは葉がサツマイモに似てやや大きく、節間がよく伸びます。細葉タイプは竹葉に似て、若取りに適しています。広葉タイプでは、「エンサイ」（タキイ種苗）、「エンツアイ」（サカタのタネ）など、細葉タイプには、「なつサラダ」（フタバ種苗）、「スラらん」（タキイ種苗）などがあります。

### 【畑の準備】

植え付け（または種まき）2週間前に1平方m当たり苦土石灰100gをまいてよく耕します。1週間前に化成肥料（NPK各成分10%）200gと堆肥2kgを土とよく混合します。その後、畝幅70～80cm、高さ5～10cmの栽培床（ベッド）を作ります。

### 【種まき・植え付け】

種は皮が堅いので一晩水に漬け、吸水させてからまきます。発芽適温は高温のため、早まきはしないようにしましょう。

準備した栽培床に株間30cmとし、深さ1、2cm、1カ所3、4粒じかまします（図1）。苗作りをする場合は、7.5～9cmのポリポットに3、4粒ま

き、本葉3、4枚になったら苗を植え付けます。

若取りを目的にする場合は細葉タイプの品種を使い、約1cm間隔に筋まきにし、本葉3、4枚までに株間4、5cmに間引きます。

### 【管理】

発芽後は本葉4、5枚で間引き、1本立ちにします。追肥は2週間置きに1平方m当たり化成肥料50g程度を施します（図2）。また、柔らかい葉を収穫するには灌水（かんすい）を十分行います。

### 【収穫】

つるが40～50cm程度に伸びたら、株元5、6節を残し、つる先の20～30cmを摘み取ります。その後、脇芽が次々に伸びてきますので、同様に収穫します（図3）。

細葉タイプの若取りは、草丈25cm程度のとき、株元2、3節を残し、刈り取ります。数回収穫ができます。なお、秋にヒルガオのような白い花が咲きます。

図1 種まき（じかまき）

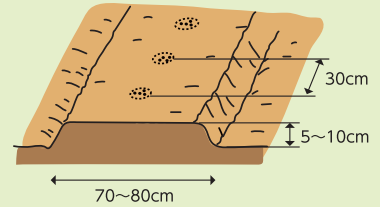
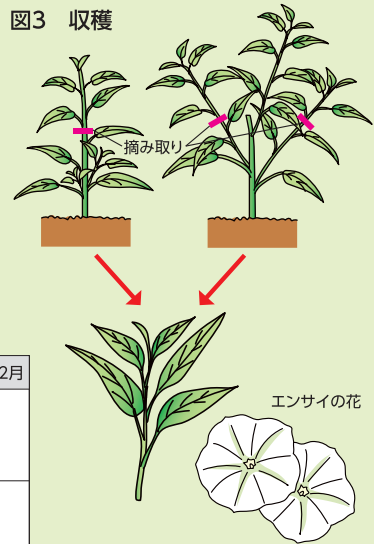


図2 追肥



図3 収穫



栽培カレンダー（エンサイ）

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
中間地			●	—	—	—	—	—	—	—	
暖地		●	—	—	—	—	—	—	—	—	

● 種まき — 生育 — 収穫



「ベランダでも育てられる みんなのコンテナ菜園」をJAしまねホームページで連載中です。今月は「スイートコーン」!

## 理事会情報（3月27日開催）

- ①令和8年度 JAしまね農業振興支援事業要項・要領について
- ②令和8年度 県域品目販売手数料の設定について
- ③令和8年度 補助事業の実施について
- ④農作業受委託規程の設定について
- ⑤令和6年産 飼料用米の最終精算について
- ⑥酒造好適米 安定供給体制の確立について
- ⑦酪農家に対するJAしまね独自支援の継続について
- ⑧余裕金運用にかかる基本方針および令和8年度の年次運用方針について
- ⑨西いわみ地区本部 土地区画整理事業に伴う営農センター等の建設について
- ⑩令和7年度末決算見込（第2次）について
- ⑪令和8年度 事業計画について
- ⑫組合と理事との取引（契約）の承認について（都度承認分）
- ⑬令和8年度「コンプライアンス・プログラム」「個人情報保護並びに情報セキュリティ計画」の設定について
- ⑭令和8年度 固定資産取得・処分計画について
- ⑮出資口数の減少（減口）について
- ⑯行方不明組合員等の脱退手続きに係る組合員資格の確認について
- ⑰総代選挙の実施について
- ⑱管理部門集約を踏まえた今後の本店事務所の方向性について
- ⑲令和8年度 JAしまね「家の光三誌」および「日本農業新聞」普及方針について
- ⑳令和8年度 JAしまね地域貢献活動について
- ㉑令和8年度 新規職員の採用方針について
- ㉒定年延長等に伴う有期雇用・パートタイム職員の就業規則等の改正について
- ㉓役員報酬支給要項の改正について

# 令和8年度地区別座談会

質問・意見

回答要旨

## 企画総務部門

Q 総代定数の削減について事務局側での考えはあるのか①

A 昨年の座談会では「正組合員56・3名に1名の総代」という説明を行い、その内容に基づく新たな選挙区での定数について説明をして総代会の決議に至った訳ですが、総代選挙に向けてはそれぞれの地域での地域事情があると考えますので、総代を中心とした支店運営委員会等の協議により、支店長が事務局となり減少となる総代定数での地域割り等を検討していただくこととしていきます。

Q 令和10年4月に予定されている新たな運営体制に向けて、西いわみ地区本部の地位向上のために増資運動を行うべきではないか②

A 新たな運営体制において、出資金額により地区本部の地位が変わることはありませんので、増資運動の計画はありませんが、正組合員の減少により総代定数が減ることは決定していますので、その点では地区本部の力が低下すると言えらるかもしれませんが、総代の方には是非とも総代会へ出席していただき、管内の農業振興に必要な事柄等についての発言をお願いします。

Q 職員数が毎年減少していることに対して、JAとして対策をしているのか③

A 県内の全ての企業が人員確保に苦労している中で、初任給引き上げの取り組みも行っていますが、他の企業も同様な取り組みを行いますので効果は薄いです。令和8年度からは再雇用制度、職員紹介採用制度、定年延長（65歳定年）を行うことが理事会で決定していますので、新たな制度を十分に活用して人員の確保に取り組みます。

Q 益田市内のジュンテンドー連携はどのような考えか④

A 六日市のジュンテンドー連携は令和8年度の早い時期に実施したいということを進めています。益田市内のジュンテンドー連携は現在のところは検討に至っていません。新宮農センター構想の中には「宮農指導の出来る店舗」として引き続きグリーンセンターを設置する予定ですので、まずは六日市店の連携を上手くやり遂げて、その状況を検証して益田市内の検討を行う予定です。

Q ジュンテンドー「いきいきポイントカード」とJA「おさいふカード」を連携すれば、ジュンテンドーでの買い物に対して「おさいふカード」にもポイントが付くのか。カードの連携登録手続きはこの店舗で行うのか⑤

A カードの連携登録手続きは島根県内のジュンテンドー店舗であればどこでも可能です。カード連携により、ジュンテンドーでの買い物に対して双方のカードにポイントが付与されます。

Q 5年間で西いわみ地区本部の事業総利益が2億円以上減少している要因は⑥

A 別会社化により農機事業の事業総利益が上がっていない点がありますが（事業管理費も同様）、信用・共済の事業総利益が1億円以上減少していることが一番の要因です。マイナスイ金利政策により農林中金の奨励金が減少したこと、人口減少や少子高齢化が進む中で共済保有高が減少しているために全ての地区本部で同様な状況となっています。

Q 匹見のメイプル店舗は町内に必要な施設ということで、当時の匹見町が補助金を出して建設した施設でもあるので、廃止となるのが絶対にならないようにしていただきたい⑦

A 当時の匹見町補助金の経過は理解していませんし、4年前の支店統廃合の組合員説明において「匹見SSとメイプル店が匹見地域のライフラインであり、無くなさない」という説明をしていますので、廃止する考えはありません。どのような形で今後継続していくかを検討している状況です。

## 営農経済部門

Q 令和8年産米の概算金の見込みはどのようになるのか⑧

A スーパーの棚からお米が消えた「令和の米騒動」により米価は飛躍的な上昇となり、新米が出回ってからは流通が回復しているため、概算金は昨年よりも下がるという予測が広がっていますが、現在のところ具体的な金額を申し上げる段階がありません。いずれにして

も生産コストだけが右肩上がり、数十年にわたり低迷を続けた米価について、限界に達していたコスト増がようやく販売価格に転嫁された状況です。生産コストに見合った概算金を保持することが重要となります。国や消費者等への働きかけ等もJAの重要な取り組みであると考えます。

Q 米の一等米比率が上がった要因はなにか⑨

A 適切な農薬使用によるカメムシ防除が一番大きな要因と思われませんが、色彩選別機を導入された方も多く、選別機にかけられた米が増えたことも挙げられます。

Q 島根県で暑さに強く収量が多い米の品種が開発されたと聞いたが、いつ頃から栽培が出来るのか⑩

A 島根県オリジナル品種「島系84号」として1月7日から2月10日の間名前を募集しています。食味はコシヒカリと同等レベルと聞いていますが、試験栽培を行った後の2028年からの一般栽培を目指しています。

Q もち米の等級が低いことが多いのはなぜか⑪

A もち米の特性として胴割れ粒が発生しやすい点が挙げられます。問題なく加工が出来るもち米であっても外観についての等級基準が定められており、その基準に従って格付けを行わなければならないので、ご理解をお願いします。

Q 栗の生産者が激減しているが、JAの集荷対応など今後の対応方針はどうなのか⑫

**Q** 毎年、栗の初出荷にはテレビの取材も来ています。鹿定郡内の貴重な特産であり、生産量は確かに減少していますが、JAとしては引き続き集荷対応を実施します。

**Q** JAしまねで水稲資材をネット購入出来るのか。出来るならその際のメリットは⑮

**A** JA全農のWebサイトからネット購入が可能です。若い方を取り込むことが目的で、JA側では紙媒体に比べ集計等の業務が軽減され、組合員側では購入履歴が分かりやすいというメリットがあります。配達に時間を要するというデメリットもあります。

**Q** 食品衛生法の改正について、JAとしてどのような動きをしたのか⑭

**A** 食品衛生法の改正により、伝統的な技術の継承が危ぶまれる状況にあります。津和野町農政会議では町に対して要望書を提出していますし、引き続き、関係機関に対してJAとして働きかけを行います。

**Q** 保育園や小学校に対するJAの食農教育活動はとも良い取り組みで、日本の農業のためになる取り組みなのでぜひ継続してもらいたい、中学校でも職場体験授業があり、受入先としてJAや農家を入れてもらえればどうか。また、高校や農業大学校に対しても積極的な接点づくりを行っていただきたいが⑯

**A** 保育園と小学校に出向く取り組みは今後も継続して実施します。今年、西いわみ管内では初めて中学3年生に対して「学業成就米」を寄贈し、農業に関心を高めていただく取り組みを行いました。また益田翔陽高校との繋がりは以前か

ら密にあり、就農に関する会議も連携して開催していますし、島根県立農業大学校に対する働きかけも行的、JA職員への雇用に結び付けています。

## 金融共済部門

**Q** 店舗統廃合や事業所体制の見直しについてはやむを得ないと我慢したが、もしATMが無くなるのであれば今後のJA利用は考えなければならぬ。新たな運営体制検討の中でATMについてはどのような検討がなされているのか⑯

**A** ATM存置の基準として月間利用件数700件という数値がありました。各地区本部で店舗統廃合を進めた経過もあり、現在、JAしまねではATM廃止の検討は行われていません。県下で最も面積の広い地区本部として、支店統廃合時の説明経過、ATM利用可能場所までの距離、該当地区の貯金量等々、地域金融機関としてのJAの役割についてはしっかり本店につなぎます。引き続きのATMご利用とJA貯金のご利用をお願いします。

**Q** 通帳へのコメント入力出来ないのか⑰

**A** 窓口での迅速な対応やお客様の待ち時間の短縮を目的として、通帳コメント入力を廃止してから相当期間も経過しています。全国の他のJAや他の金融機関においても同様な状況であり、要員体制や費用面からサービスを復活することはありませんので、ご理解をお願いします。

**Q** 渉外担当者はごままでの業務が出来るとの⑱

**A** システム管理されたタブレット持参での業務対応となり、渉外担当者の職種（共済推進を行うLA・複合渉外、共済推進を行わない地区担当渉外）で業務対応範囲が異なりますが、事前に内容をお伝えいただければ、現金授受や満期対応等のほとんどの貯金業務については対応が可能です。

**Q** JAが取り扱っているバンクアプリ、ネットバンク、共済アプリ等の説明を含めたスマホ教室を女性部や地区の集まりの時に開催は出来ないか⑲

**A** スマホ全般の教室開催は難しい点がありますが、JA職員で対応が出来るバンクアプリや共済アプリのJA関連アプリの説明や操作方法等については開催する方向で検討しますので、日程や参加人数等を事前にお伝えください。

**Q** 貯金保険機構での保護の範囲は変わらず1,000万円までか⑲

**A** 1,000万円までで変わりありません。JAしまねの自己資本比率は大手のメガバンクと比較しても遜色ない比率を保持していますので、1,000万円を超える部分についてもご安心ください。

## 新営農センター・NEW多目的選果場関連他

**Q** 新営農センター構想はどのような施設が出来るのか⑳

**A** 営農経済部事務所、グリーンセンター、資材倉庫と、葬祭会館2号店を併設する予定です。同一時期に多目的選果場

の建設も控えており、建設費圧縮に努める必要がありますので、当初の説明内容よりも規模については縮小した内容で検討を進めています。

**Q** 新営農センター全体の規模縮小により、女性部から要望していた調理室が縮小となると説明があったが、不便が無いような施設にしてほしい㉑

**A** 規模自体が縮小となる中で、調理器具備品等の設置については女性部の意見を最大限に聞き入れて進めていきます。

**Q** NEW多目的選果場の建設について、現在のどのような状況で進んでいるか。利用料はどうなるのか㉑

**A** 令和7年9月のJAしまね理事会で国の事業へ申請することについての承認をいただき、検討協議を重ねています。建設地は高津地区の競馬場跡地を予定しており、令和10年から選果を開始する予定です。この移転建設に伴い利用料を追加で徴収する予定はありませんが、各部会の代表を委員として会議体を設置しており、今後も様々なことを協議しながら進めていきます。建設費用の約3分の2を国等の補助金で賄う予定です。今はその申請手続きを進めています。

**Q** NEW多目的選果場の建設により、現在の飯田選果場はどうなるのか㉑

**A** 選果機については撤去する予定ですが、建物は屋根に太陽光発電も設置されていますので、今後の施設の有効な活用方法についての協議を行っています。尚、喜阿弥がどう選果場は本件に合わせて解体する予定です。



## 毛利氏庭園の散策と坂本冬美コンサート2026 益田支部 “ふれあい旅行”



益田支部の皆さん

## 山口日帰り 坂本冬美コンサート2026 六日市・柿木支部 “親睦旅行”



六日市・柿木支部の皆さん

西いわみ年金友の会日帰りの旅

2月28日

JAしまね西いわみ年金友の会益田支部は、益田市内各地から78人の会員が参加し、“ふれあい旅行”を実施しました。

早朝それぞれの集合場所から2台の大型バスで出発した一行は、一路山口県防府市にある毛利氏庭園を目指しました。

邸宅の一部が旧毛利家代々の宝物

を所蔵する博物館となっている、江戸期の御殿さながらに荘厳な旧毛利家本邸の佇まいや、明治・大正時代の技術の粋を集めた2万5千坪の壮大な敷地が広がる毛利氏庭園を散策しました。

一方、同会六日市支部・柿木支部も会員75人が大型バス2台に分乗し、“親睦旅行”を実施しました。

同様に早朝出発した2台のバスが目指す目的地は、日本海に面した山口県萩市にある道の駅萩シーマート。

萩シーマートは萩漁港と卸売市場に隣接した場所ので、立地を活かしてその日水揚げされた鮮度抜群の魚介類が並び、レストランや特産品・海鮮加工品・地域の新鮮野菜などともに、萩の旬の味を買い求めるには最高の場所ので、参加した皆さんは店内でお土産を買い求めたり、駅舎周辺や漁港近くを散策して過ごしました。

昼食を済ませたそれぞれの団体は、今回の最大の目的「坂本冬美コンサート2026」が行われる山口市小郡のKDDI維新ホールへとバスを進めました。

このコンサートを楽しみに参加した皆さんには、午後2時の開演から終演まで楽しい時間を過ごしていただき、帰路はバスの中の会話も弾み思い出に残る日帰り旅行となりました。



# まちむらネットワーク

春の訪れを告げる「山菜」が出荷最盛期



竹内組合長も自らてんぷらを揚げ、津和野町・JAの職員が揚げたての「たらの芽・こごみ・うるい」を、「日原の山菜です。食べてみてください」と言って勧めていました。



担当する西いわみ地区本部営農経済部の鳥山正博職員は、「市場動向をしっかりと見極め、生産者の所得向上につながるよう有利販売に努めたい」と話しました。



たらの芽・こごみ・青うるい・雪うるい、4月上旬まで出荷が続きます。

日原タラの芽生産組合(竹内和善組合長)では、津和野町をはじめとする近隣市町村の、農事組合法人を含む26経営体が、促成ベンチ(幅約70センチ×縦各々)によるたらの芽・こごみ・うるい等山菜の生産に取り組んでおり、12月下旬から始まった出荷がピークを迎え、担当職員が市場への発送準備に追われていました。

同組合で生産する山菜は、2月中旬から3月下旬までの約1ヶ月間に出荷が集中し、北九州青果市場をはじめ県内外の市場へ春の便りとして届けられています。

3月8日には道の駅「シルクウェイにちはら」で、山菜の収穫体験や試食会を行いました。店内で売られていたパック詰めのうるいを手にして、「うるい? どうして食べるの?」と言っていた方が、帰り際にエントランスで試食をした山菜の意外な美味しさに驚き、再度入店し複数パックを買い求める姿もありました。

## 畜産

### 3月の子牛市場

3月16日に雌86頭、去勢83頭、計169頭の上場により、令和8年3月の西部家畜市場が開設されました。全国的な子牛不足により相場の値上がり期待される中、平均価格が雌762千円(前回比103%)、去勢930千円(前回比110%)、計844千円(前回比104%)と、大幅な値上げとなりました。今後も購置者に支持されるよう①発育良好な牛、②肋張りの良い牛、③肢蹄のしっかりした牛を目指して「子牛飼育方マニュアル」の実践に努めて頂きますようお願い致します。

今回の市場開設日は令和8年5月19日(火)、セリ開始時間は9時30分からとなっております。出荷を予定されている方は対象牛に事故や疾病等無いようお願い致します。

### 3月西部子牛市場成績 (税込)

(単位:円・kg)

市町村	性別	頭数	最高	最低	平均	平均値
益田市 (益田)	雌	40	1,059,300	682,000	774,868	304
	去勢	40	1,038,400	732,600	937,482	340
	計	80			855,146	322
益田市 (美都)	雌	1	727,100		727,100	271
	去勢	0				
	計	1			727,100	271
益田市 (匹見)	雌	5	773,300	716,100	730,400	293
	去勢	1	877,800		877,800	349
	計	6			754,967	302
津和野町 (津和野)	雌	1	722,700		722,700	281
	去勢	2	1,002,100	770,000	886,050	323
	計	3			831,600	309
津和野町 (日原)	雌	6	1,320,000	716,100	857,817	294
	去勢	3	1,100,000	869,000	946,733	285
	計	9			887,456	279
吉賀町 (柿木)	雌	1	738,100		738,100	289
	去勢	0				
	計	1			738,100	289
吉賀町 (六日市)	雌	0				
	去勢	1	825,000		825,000	280
	計	1			825,000	280
西部市場 総合計	雌	86	1,320,000	677,600	762,671	298
	去勢	83	1,100,000	732,600	930,654	340
	計	169			844,663	319





## 石西地域の畜産振興に向けて 「肉用牛振興大会」を開催

益田市元町の益田市立市民学習センター多目的ホールにおいて3月6日、石西地域の畜産農家と関係機関の職員、更には益田翔陽高校の生徒を合わせた約80人が参加し、令和7年度西部地区肉用牛振興大会が開催されました。

大会前に全国和牛登録協会による表彰式が行われ、分娩間隔の部において繁殖雌牛の能力向上と飼養管理技術の改善に取り組み、和牛の改良増殖に大きく貢献したとして、西いわみ和牛改良組合（寺戸倉雄組合長）へ表彰状が贈られました。

開会にあたり主催者を代表して、島根県西部農林水産振興センター益田事務所の古川武志所長が挨拶で、「全国的な和牛子牛の生産頭数の減少から子牛市場の価格高騰が続いているが、飼料・資材価格も同様に高騰しており繁殖雌牛の増頭につながっていない。一方西部地区では早くから牛伝染性リンパ腫の検査を行い、市場において検査結果の陰性表示に取り組まれたことが畜産関係者に注目され、新たな購買者の増加を招き子牛市場での高値取引へとつながっている。第13回全国和牛能力共進会に向けて、種牛の部の候補牛の分娩が始まっていると聞いている。第12回全共に続いて地区内から出品を勝ちとり、西部地区が優良な雌牛産地であることを全国にアピールすること、子牛市場の更なる活性化につながることを願っている。生産者や関係機関が一丸となって、今後の西部地区の和牛振興を盛り上げ更に発展するよう期待します」と話しました。

続いて講演と情勢報告に移り、はじめに一般社

団法人畜改良事業団改良部の黒木一仁部長から「今後の肉用牛改良の展望とゲノミック評価について」と題した講演がありました。

会場の参加者からは組み合わせにおいて角度を変えた質問等があり、講師の回答を聞き逃すまいとメモを取るなど真剣に聴講する姿が見られました。

次に、令和9年8月開催の第13回全国和牛能力共進会に向けた、島根県出品対策の取り組み状況について、全国和牛登録協会島根県支部の細田祐輔副支部長から報告があり、第13回の会場となる北海道の状況や、県内の出品牛の準備状況について説明がありました。

島根県家畜人工授精師協会西部支部の京村真光



黒木一仁部長の講演。この日は益田翔陽高校の生徒8人が参加、最前列に席をとり熱心に説明を聴いていました。

さんが、2月に東京で開催された第54回家畜人工授精・繁殖技術発表大会において発表した「地域とともに繁殖経営を続けるための取り組み」の内容について報告を行い、雌牛に牛伝染性リンパ腫（BL）陰性確認済証明書を付けてせりにかけることで購買者との信頼関係がより強固なものとなり、入札価格の上昇と安定を招いたとする西部家畜市場活性化協議会（京村真光会長）の取り組み等について話しました。

最後に、繁殖巡回データ・西部子牛市場の動向について、島根県西部農林水産振興センターから報告を受け、JAしまね西いわみ地区本部竹長隆本部長の閉会の挨拶で大会の全日程を終了しました。



第54回家畜人工授精・繁殖技術発表大会で使用した資料内容を説明京村真光さん



## J Aしまね津和野支店農業研修会開催

J Aしまね津和野支店（松浦利幸支店長）は2月27日、道の駅津和野温泉なごみの里で生産部会の部会員など40人が出席し、令和8年J Aしまね津和野支店農業研修会を行いました。

開会にあたって松浦支店長は挨拶で「講師の説明をしっかりと聴いて、農薬の適正な使用等をご理解いただき、間もなく始まる春作業に励んで下さい」と話しました。

この日の講師は公益社団法人緑の安全推進協会から委嘱を受けた、クロツブライフジャパン（国内の主要な農薬製造業者を中心に組織した任意団体）の乾公正農学博士で、安易な自己判断による誤った使用（類似作物、希釈倍数、時期、回数）は基準値超過となる場合があり、農薬容器に記された使用基準に適合しているかを必ず確認し、使用後の散布機具の洗浄についても徹底するように注意喚起がありました。

安全とは「化学的な根拠に基づく客観的なもの」で、安心とは「自ら理解・納得して得られる主観的なもの」とし、「化学的に安全を証明しても、必ずしも安心を確保したことにはならない」「安全を安心に変えるには信頼が必要」で、「適切な農薬の使用で安全を確保し、正しい知見に基づく説明で理解と納得を得ることが、信頼の醸成につながる」と話しました。

農薬や化学肥料に頼らず「人や環境にやさしい農業」を進めることの重要性和と難しさを感じる一方で、作業性の向上や高齢化等による労力の軽減に資する上で、農薬は農作物の安定した収量・品質の確保、病害虫・雑草防除など大切な役割を担っています。



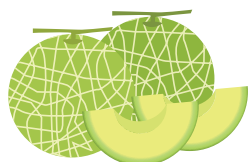
## 『基本は土づくり、安全・安心なメロン生産で信頼のある産地づくり』津和野メロン生産部会通常総会開催

津和野メロン生産部会（三宅隆部会長）は3月12日、J Aしまね津和野経済センター会議室で令和7年通常総会を行いました。

総会の冒頭三宅部会長は、津和野町農政会議が町に対し提出した要請書の内容や、農林業問題研究会の意見交換会での要望内容を紹介し、メロン部会としては『異常気象による収益圧迫防止』『新規生産者の確保』『津和野メロンの宣伝強化』の3点を要望していることを繋ぎ、続けて「私たち生産者も自らが創意工夫で良いメロンづくりに努めなければならない。中東の情勢次第では燃油に限らず生産資材の価格にも大きく影響を及ぼしかねない。夏場の異常気象等他にも不安材料はあるが、我々が日々のメロン栽培を楽しみ励む姿を見て、若い人や新規就農者がメロンづくりに興味を持ち、自分も取り組んでみようと思ってもらえるような取り組みをしていきたい」と挨拶しました。

J Aを代表して挨拶に立った松浦利幸津和野支店長は「異常気象や物価・人件費の高騰等厳しい状況にあるが、津和野町の物価高騰対策等を活用され、身体に十分ご留意の上メロン生産に励んで下さい」と話しました。

株式会社山陰種苗大畑整社長、株式会社萩原農場の野村毅技術開発部長より来賓の挨拶をいただいた後、三宅部会長が議長を務め議案が議長を務め議案審議を行い、その他を含み全ての議案を全会一致で可決承認し総会を終了しました。





## 津和野町内の14農業法人が集結 わくわくつわの協同組合が定期総会を開催

わくわくつわの協同組合（糸賀盛人理事長・津和野町農事組合法人連絡協議会（同会長）は3月17日、津和野町の道の駅「津和野温泉なごみの里」に多くの行政関係者等を来賓に招き、第17回定期総会並びに令和7年通常総会を開催しました。

中国四国農政局郷局長来賓挨拶



山本農林水産部長の講演

開会にあたって糸賀理事長はイラン情勢による燃油の高騰について触れた後、「米価がJAの努力のお陰もあって昨年大幅に上昇した。しかし需給バランスの調整役を担う新規需要米の生産者が主食用米へ作付け転換した場合、畜産農家の飼料調達に係る費用の負担増や主食用米の過剰作付け等、価格にも影響が出る可能性があり、飼料米・WCS等についても主食用米の価格動向に連動した仕組みづくりが必要だと思う。地域を守り田んぼを守り美味しい米を作っている我々は、金儲けの為ではなく自分たちの故郷を守るという使命がある。何があっても誇りと自信を持って地域の農業を守っていこう」と挨拶しました。

来賓を代表して農林水産省中国四国農政

局郷達也局長、島根県西部農林水産振興センター角森章子所長、JAしまね西いわみ地区本部竹長隆本部長、中村芳信県議会議員がそれぞれ挨拶を行い、郷局長は「一番大切なことは人と金を如何に呼び込むかであり、美味しい米以外にどんな物を作るか人づくりと合わせて地域ごとに考え、皆さんで力を結集して頑張っていたきたい。農政の一丁目一番地は地域を守ることであり、そうした取り組みをしっかりと支えていきたい」と話しました。

来賓の挨拶・紹介に続いて、昨年のこの総会で講演をしていた、鈴

木憲和農林水産大臣から届いた、協同組合の団結と地域での取り組みに対する期待のメッセージが読み上げられました。慣例により糸賀理事長が議長を務め、両総会に掲げた議案全てを全会一致で可決承認しました。

休憩を挟んで島根県農林水産部の山本拓樹部長による、第二期基本計画における中山間農業の振興の方向性についての講演がありました。

講演を終え各法人から意見要望等の発言提案があり、14法人の代表からは高齢化による労力不足・人材確保を課題とする意見や、GAP美味しまね認証について複数の組織から、「支援事業の申請に必要な要件の一つとして位置付けられているが、事務手続きが煩雑であり、報告資料等の簡素化をお願いしたい」といった意見があり、山本部長は全ての発言に頷きながらメモをとり、現場の声にしっかりと耳を傾けていただきました。

現場と行政が共有する時間の中で議論を重ね、お互いが描く農業の将来像が一点に交わることで、より地域の実情に即した方向付けや、山積する課題の解決に向けて期待が膨らむ貴重な総会となりました。





# まちむらネットワーク

## 第9回JAしまね西いわみ女性部 グラウンドゴルフ親睦交流会

JAしまね西いわみ女性部（大畑まきみ部長）は3月12日、益田市美都町のひだまりパークにおいて、管内の女性部員85人と地区本部役員等が参加し、「第9回JAしまね西いわみ女性部グラウンドゴルフ親睦交流会」を開催しました。

大畑部長は開会の挨拶で「良い天気恵まれて安心しました。水分補給を忘れずに楽しく過ごしましょう」と話しました。

続いて開会式に出席した竹長隆本部長は「外すことができない業務があり参加できずに残念です。怪我に気を付けて頑張ってください」と挨拶しました。

ひだまりパークみとの長岡邦政社長からプレー中の注意事項・コースルールの説明を受け、参加者は16組に分かれて2ラウンドプレーにより成績を競いました。早春の穏やかな日差しに覆われる最高の天候に恵まれ、コース上では16本のホールインワンが出るなど、幾度となく大きな歓声が沸き起っていました。中でも二人の方が1ラウンド目の開始合図と同時にホールインワンを出された場面では、同グループの方たちはまだ歓声を上げる準備もできておらず、ただお互いの顔を見合わせて「入ったよ！」と驚くだけでした。

ラウンド中はグループのプレーヤーを気遣う言葉や、「ナイスショット」と称賛する声が聞かれ、より交流を深め親睦を図ることができた西いわみ女性部のグラウンドゴルフ大会でした。



竹長本部長挨拶



大畑部長開会の挨拶



ホールインワン3本で優勝に輝いた  
城市美津枝さん（北仙道支部）右、  
準優勝の大石タカ子さん（安田支部）左



## 柿木事業所感謝祭

JAしまね柿木事業所（橋本智恵美所長）は3月7日、事務所前の駐車場を会場に柿木事業所感謝祭を開催しました。

玄関前のテントでは、西いわみ女性部柿木支部（小田恵美子支部長）によるちらし寿司・炊き込みご飯の販売などが行われ、その横ではJA職員が手作りの温かい豚汁を準備し、来場していただいた方へ「温かい豚汁を食べてください」と手渡していました。

周辺のテントでは刈払機や小型農具類・生活用品等の販売を行い、JA職員による「焼き鳥」や「たこ焼き」などのコーナーも、賑やかに祭りを盛り上げました。また、地元白谷神楽社中による神楽の奉納もあり、本格的な農作業を前に地域の皆さんと一緒に楽しい一日を過ごすことができました。



六日市支店職員や帰属職員も「たこ焼き・焼き鳥」の屋台を出店、祭りを盛り上げました。



小型農具類や生活用品も展示会価格で販売しました。



地元白谷神楽社中による神楽が始まると、神楽ファンは吸い寄せられるようにステージの前へ！



吉賀町内や各地から大勢の方にお越しいただきました。



好評のキャベツやレタスなどの  
プラグ苗も安価で販売しました。



管理機や刈払い機・動力噴霧器  
など農機具も展示、倉庫内には  
電動工具や生活用品・便利グッズ  
等様々な商品を展示しました。

## 益田グリーンセンターで春の感謝セール

J Aしまね西いわみ地区本部益田グリーンセンターは3月20日、春の感謝セールを開催しました。快晴のこの日は間もなく始まる春作業に備え、必要な農業資材や農具類等を購入する方の姿が多く見受けられました。J A全農島根農機サポーター(栃西いわみ営業所)も管理機や刈払い機等小型機械を展示し、来店者の対応にあたっていました。

## 春の農機フェア開催

J A全農島根農機サポーター株式会社は3月5日・6日の両日、吉賀町の西いわみ営業所六日市サービスセンター(J Aしまね六日市支店)において春の農機フェアを開催しました。

クボタ・三菱など複数メーカーの管理機や運搬車、刈払い機といった小型・中型農業機械を中心に展示し、来場者の目を楽しませていました。

快晴の初日には、事前の開催案内を受けた農業法人など営農組織の代表者の皆さん等が来店、担当する職員が現在使用中の大型機械の調子や、買い替えに向けた相談を受けていました。また、支店での用事を済ませて展示場へ立ち寄られる方もあり、春作業も間もなく始まる時期とあって、興味がある展示機械の機能等についてスタッフに熱心に質問していました。

二日目は前日の好天から一転、雨模様で肌寒さを感じる天候となりましたが、来場者は二日間で120人に上り、トラクターの契約に向けた商談や色彩選別機のご成約もいただきました。多くの皆様にご来場いただき誠にありがとうございました。





## 失効JA総合ポイントを寄附

JAしまねでは組合員・利用者の皆様が、JAの事業を利用された内容や金額に応じてポイントの付与を行っています。（おさいふカード）

各グリーンセンター・Aコープ店舗でのお買い物や、信用・購買（生産資材）・カントリーエレベーター・葬祭など各種事業を利用された際、定められたポイントが付与され、獲得したポイントは翌々年の12月31日までに、お買物代金の支払いにお使いいただくか、お買物券（JA店舗・Aコープなど）で使える買物券500円・1000円）等への交換が必要となっています。

然しながら未還元のまま令和8年1月1日で失効となった令和5年中に付与されたポイントがあり、西いわみ地区本部ではこれを地域貢献活動に活用

することとし、予てから支援要請のあった益田市・津和野町・吉賀町の社会福祉協議会、子ども子育て支援組織（子ども食堂やフードバンク等）など11団体へ合計54万円を贈りました。



3月10日 西いわみ地区本部  
左から

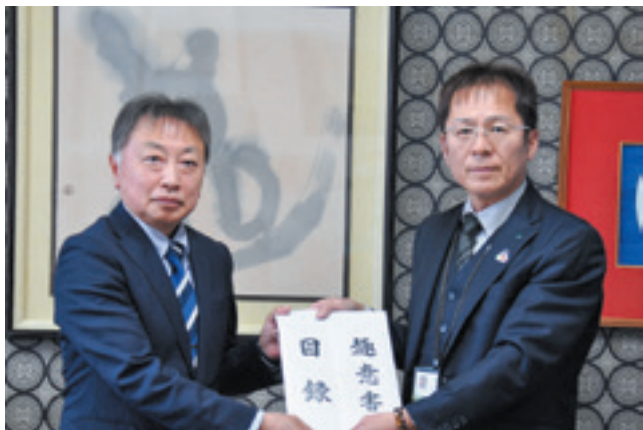
益田市社会福祉協議会 藤岡寿常務理事  
JAしまね西いわみ地区本部 竹長隆本部長  
津和野町社会福祉協議会 内谷澄男会長  
吉賀町社会福祉協議会 佐古繁行会長

## 管内の中学校へ反射材を贈呈

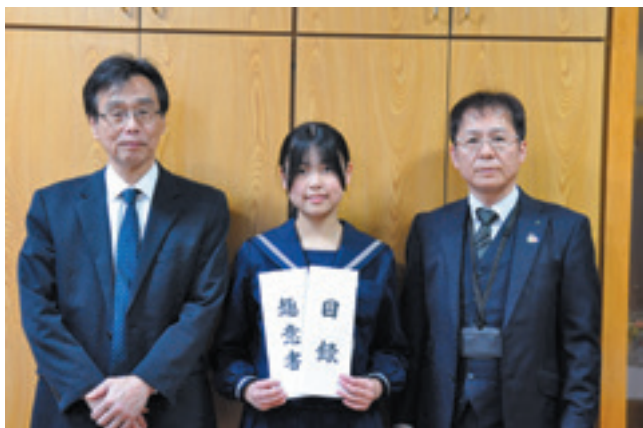
JA共済連島根・（一財）島根県農協共済福祉事業団・JAしまねは、令和8年春に中学校へ入学する新1年生に、登下校時の交通安全に役立ててもらおうと夜光反射材（タスキ・自転車用テープ）を寄贈しました。

中学校生活では交通混雑時や夕暮れ時の登下校が増え、交通事故に遭遇する危険性も増すことから、JAしまねでは毎年夜光反射材を県内の中学校へ贈っています。

西いわみ地区本部においても3月18日、滝元英二統括支店長が益田市立益田中学校、津和野町立日原中学校を訪問し夜光反射材の贈呈式を行いました。



益田中学校 兼子史寛校長先生に目録と趣意書を渡しました。



日原中学校 小田充男校長先生・沖田友希乃生徒会長に目録と趣意書を渡しました。





## 思い出に炭焼きを体験

津和野町長福で年3回から4回の炭焼きを行っている炭づくりの仲間が3月4日、同地区の佐内洋さん所有の炭窯に木部小学校の児童を招き炭焼き体験を行いました。

炭の原料に用いられる木はクスギ・カシ・ナラ等が良いとされ、この日も周辺の山から切り出したナラ木が窯の高さに切り揃えて準備され、窯に入った二人の児童が地元のベテランの人と一緒に隙間なく立てていきました。

窯口まで満遍なく詰め込みを行った二人は、壁作りにも挑戦し地元の人の指導を受けながら、練られた土を手にはレンガを積んでいきました。仕上げに地元の熟練者によって焚口が設置され、完成した窯に火入れが行われました。

二人の体験はここまででしたが、今後は地元の人の手で数日間は薪を絶やすことなく昼夜を問わず火を焚き、煙突の煙の色が変化する原木の炭化の始まりを待って、焚口を塞ぐ窯止めを行います。窯止めを行うタイミングが早すぎると仕上がった炭にガスの刺激臭が残り、遅すぎると灰になる確率が高くなる、炭作りで最も重要な作業と言われています。

山の恵みを木炭という燃料に変える技術は、人類が火を使い始めた数万年前に遡るとされ、ガスや電気は当たり前、暖房や調理もスイッチひとつの時代に生きる二人にとって貴重な体験となりました。



二人は進んで窯の中に入り作業を手伝いました。



入口近くまで原料が積まれたところで休憩。



地元の人の指導を受けながら、窯口を塞ぐレンガも交代して積みました。



火入れも済んで約2時間半の作業を終えた、渡邊結月さん(6年)左長島咲風さん(5年)右

## 店舗別の大型連休対応について

4月25日(土)～5月6日(水)までのゴールデンウィーク対応について下記のとおりご案内いたします。

月日	益田グリーンセンター	グリーンセンターひまわり	グリーンセンターしろやま	六日市グリーンセンター	めいぶる(匹見)	匹見SS
4月25日(土)	営業	休業	休業	営業(8:30~15:00)	休業	営業
4月26日(日)	営業	休業	休業	営業(8:30~15:00)	休業	休業
4月27日(月)	営業	営業	営業	営業	営業	営業
4月28日(火)	営業	営業	営業	営業	営業	営業
4月29日(水)祝日	営業	営業(8:30~15:00)	営業(8:30~15:00)	営業(8:30~15:00)	営業	営業
4月30日(木)	営業	営業	営業	営業	営業	営業
5月1日(金)	営業	営業	営業	営業	営業	営業
5月2日(土)	営業	営業(8:30~15:00)	営業(8:30~15:00)	営業(8:30~15:00)	休業	営業
5月3日(日)祝日	営業	営業(8:30~15:00)	営業(8:30~15:00)	営業(8:30~15:00)	休業	休業
5月4日(月)祝日	営業	営業(8:30~15:00)	営業(8:30~15:00)	営業(8:30~15:00)	休業	営業
5月5日(火)祝日	営業	営業(8:30~15:00)	営業(8:30~15:00)	営業(8:30~15:00)	休業	営業
5月6日(水)振替	営業	営業(8:30~15:00)	営業(8:30~15:00)	営業(8:30~15:00)	休業	営業



## 第18回吉田南小学校バケツ稲の取り組み 優れた観察記録に表彰状

J Aしまね西いわみ地区本部は3月13日、益田市立吉田南小学校でバケツ稲づくりコンテストの表彰式を行いました。

同小学校5年生は「総合的な学習の時間」の授業の中でバケツ稲づくりに取り組み、春の播種から収穫までの様々な成育過程を記録し報告書にまとめました。

提出された報告書を基に、西いわみ地区本部営農経済部で審査した結果、最優秀賞1人、優秀賞2人を決定し、この日の表彰式で賞状と副賞のヘルシー元氣米を贈りました。



左から  
優 秀 賞の秋吉結衣さん  
最優秀賞の福原希彩さん  
竹長隆本部長  
優 秀 賞の河野莉心さん



## 令和7年度 吉田南米の記録



発芽した籾を肥料と一緒に篩きました  
6月12日



苗を定植するバケツの代掻きは大変でした  
6月12日



取組み初日はお米について学びました  
6月10日



ハゼ干して完全に乾燥した稲穂を脱穀しました  
11月4日



稲も収穫の時を迎えました  
10月21日



大きく育ち始めた苗をバケツの中央に寄せてやりました  
7月10日

# 水稲

**適正な播種量と植付本数で品質向上を目指しましょう！**

**● 健苗育成のポイントには播種量**

米づくりは苗半作といわれ、苗の良し悪しによって収量・品質は大きく左右されます。良質米生産のためには、まず健康な苗をつくることから始まります。そのためには、播種量は乾粒で120g/箱の薄まきとし、茎が太く腰のすわったがっしりした苗をつくりましょう。

**● 田植えのポイントには植付本数！**

今年もいよいよ本格的に田植えがスタートする時期となりました。近年は乳白粒による品質低下が大きな問題となつています。その原因の一つが、過剰な生育による過繁茂です。そこで次の点に注意して田植えを行ってください。

**① 一株の植付け本数は3〜5本にしましょう！**

一株の植付け本数が多いと、田植えをした後の見栄えは良いのですが、その後は過剰分げつとなつて乳白粒が発生しやすくなります。  
\*乳白粒対策として

● 出穂期を遅らせる：遅植えにより出穂を遅くして登熟期の気温を下げる

● 水田や稲体を冷やす：かけ流し灌がいや夜間入水などの水管理がある

**② 植付間隔は条間30cm・株間18cm（坪60株）にしましょう！**

一株の植付け本数を3〜5本とした場合、植付け間隔が広くなりすぎると収量が低下する場

合がありますので適正な栽植密度を心掛けましょう。

**③ 植付け深さに注意しましょう！**

極端な深植えをすると活着が遅れ、分げつが抑制されます。また、株が広がらずに筒状の姿となり、紋枯病などの病害に弱く、倒伏しやすくなります。また、極端な浅植えは除草剤による薬害を受けやすくなりますので、植付け深さは3cm程度としましょう。

**● 除草（ヘルシー米圃場には、使用しないでください。）**

5月下旬田植えでは薬害の危険があるため、中期除草剤は使わない。

**中期 除草剤**

例 ○ソニックブームSジャンボ

移植後14日（稲4葉期以降）〜ノビエ4葉期まで。ただし収穫60日前まで。混水状態で散布する（パックのまま投げ入れる）。

**中・後期 除草剤**

例 ○バサグラン粒剤（ナトリウム塩）

移植後15日〜収穫45日前まで。落水して散布する。

例 ○ウィードコア1キロ粒剤

移植後7日〜ノビエ4葉期まで。混水状態で散布する（収穫60日前まで）。

## 農薬使用者の皆さんへ

**重要**

農薬を使用する時は必ず農薬ラベルを確認し、適用範囲内で使用しましょう。

- **適用作物**：記載以外の作物には使用できない  
別名、グループ名の確認
- **使用時期**：移植前、収穫〇日前まで、など
- **使用回数**：本剤の回数、有効成分毎の総使用回数  
(種苗期使用を含む)





## 島根県農業協同組合 西いわみ地区本部 人事異動

1. 退職 [令和8年3月31日付]  
 【正職員】 谷本直也 企画総務部総務ふれあい課付 JA全農島根農機サポート(株)出向 (依願退職)  
 【有期雇用職員】 橋本智恵美 六日市支店柿木事業所長 (契約期間満了)
2. 転籍 [令和8年3月31日付]  
 【正職員】 城市浩史 JA全農島根農機サポート(株)へ転籍  
           下森龍二 JA全農島根農機サポート(株)へ転籍  
           岡山賢二 JA全農島根農機サポート(株)へ転籍  
           青木力 JA全農島根農機サポート(株)へ転籍
3. 採用 [令和8年4月1日付]  
 【正職員】 羽根知広 企画総務部 総務ふれあい課付  
           河野駿祐 企画総務部 総務ふれあい課付  
 【有期雇用職員】 坂本大空 営農経済部 指導販売課  
                   永見伸志 六日市支店 柿木事業所
4. 異動 [令和8年4月1日付]

新任部署・職位	氏名	旧任部署・職位
営農経済部		
営農経済部長	大崎 弘康	営農経済部長兼米穀課長
米穀課長	岡本 忠明	営農経済部米穀課
米穀課長補佐	丸崎 文悟	企画総務部総務ふれあい課付 JA全農島根農機サポート(株)出向
六日市支店		
六日市支店長兼柿木事業所長	森本 司	六日市支店長

## 令和8年度 健康管理活動日程のお知らせ

### 生産部会健康診断

5/12(火)	飯田子育て支援館
8/20(木)	下本郷町旧オーエムツー
8/21(金)	開発研修センター

### 担い手人間ドック

9/28(月)	津和野温泉なごみ
11/26(木)	下本郷町旧オーエムツー
11/27(金)	下本郷町旧オーエムツー

※来年度は吉田地区の担い手ドックを2日間でご案内したいと考えております。(1日目55人定員、2日目15人定員)

### 農業者・女性部健診

9/28(月)	津和野温泉なごみ
11/25(水)	ふれあいホールみと
11/27(金)	下本郷町旧オーエムツー

### 巡回人間ドック

9/28(月)	津和野温泉なごみ
11/25(水)	ふれあいホールみと
11/27(金)	下本郷町旧オーエムツー

### 腹部超音波検診

4/15(水)	匹見事業所
5/12(火)	PM Aコープラボ益田東
5/13(水)	AM 中西事業所
9/29(火)	六日市支店/柿木事業所
10/20(火)	横田自由市
10/21(水)	中西事業所
11/25(水)	ふれあいホールみと
11/27(金)	下本郷町旧オーエムツー
3/3(水)	PM 津和野経済センター
3/4(木)	日原経済センター

### 胸部CT検診

8/20(木)	下本郷町旧オーエムツー (PM)
9/28(月)	津和野温泉なごみ (PM)

### マンモグラフィ乳がん検診

11/17(火)	旧中吉田出張所
----------	---------

※津和野町主催の乳がん検診・・・7月11日(土)、7月12日(日)

※日程および会場は変更する場合がございます。  
 ※料金・申込等詳細につきましては随時広報誌等でご案内いたします。

問い合わせ先 / JAしまね西いわみ地区本部 企画総務部 総務ふれあい課

TEL : 0856-22-1589 FAX : 0856-23-0788



『おさいふカード』会員様へ  
**優待割引**  
 メガネ 補聴器  
**8%OFF 5%OFF**



1級 眼鏡作製技能士  
 認定補聴器技能者  
 移動型店舗 店長 狩野 昭弘

メガネ・補聴器の専門店 PARIS MIKI

令和8年 5月度 JA巡回スケジュール 西いわみ地区

7日(木)	9時〜13時	柿木事業所	22日(金)	9時〜12時	中西事業所
				13時〜16時	益田グリーンセンター
13日(水)	9時〜13時	匹見事業所	26日(火)	10時〜15時	パリミキフェア 美都事業所(会議室)
14日(木)	9時〜12時	西益田支店			
	13時〜16時	益田中央支店	27日(水)	9時〜13時	匹見事業所
15日(金)	9時〜13時	日原経済C	29日(金)	10時〜15時	Aコープ ラボ店前 (益田東支店)
19日(火)	10時〜13時	六日市経済C			
20日(水)	9時〜13時	津和野経済C			

お問合せ、訪問のご相談は 直通 ☎ 090-6955-1612 へ お気軽どうぞ

読者の

俳句川柳

お題「筍」

6月の俳句のお題は「ホタル」です  
 ご応募お待ちしております

※締切※  
 令和8年  
 5/15  
 (当日消印有効)

- 俳句コーナー  
 筍は 脳が喜ぶ 栄養源 (益田市 加藤 富之さん)  
 筍の 香り漂う 夕餉どき (益田市 大谷 律子さん)

川柳コーナー

- 藪の中 筍よりも 人の数 (益田市 喜村 信江さん)  
 山里の 筍ずくし 旬の味 (益田市 初山 敏子さん)  
 猪の鼻 筍先見ぬまに 先越され (益田市 岡崎 雄一さん)  
 筍は 掘って大へん 煮て旨い (益田市 小笠原かよみさん)  
 筍は 身の皮剥がし 一人前 (益田市 田中千代子さん)  
 子どもたち 青空めがけ すくすくと (益田市 加治イトヨさん)  
 たけのこが ぐんぐんのびて 空家でも (益田市 両見かすみさん)  
 筍の 成長いちじるしい 100センチ (益田市 吉村 芳江さん)  
 筍の ひそひそ話し きこえくる (益田市 柳井 文江さん)  
 竹の子と 他人の子は 育ちが早い (益田市 齋藤 照平さん)  
 シシとサル たけのこ完食 金メダル (益田市 藤井キヨコさん)  
 筍の 根は猪が盗り 上は熊 (益田市 村上登美子さん)  
 初筍 イノシシ早くも 掘り当てたり (益田市 佐々木いさ子さん)  
 筍は 山椒味噌和へ 天下一品 (益田市 棕木 節子さん)  
 いのししと 競争して掘る 竹林 (津和野町 潮 恵子さん)  
 筍の アク抜き知らず 煮る新婦 (津和野町 大羽 克巳さん)  
 愛妻の 筍煮しめ 食べたいな (津和野町 大井 守さん)  
 欵かつぎ 筍ほりに 笑みくれる (津和野町 豊田 往野さん)  
 筍も 老年たてば 親竹に (津和野町 中野 健二さん)  
 たけのこの ふしを重ねて のびてゆく (津和野町 澁谷美保子さん)  
 タケノコを 猪と争って 掘る (津和野町 桑原八恵子さん)  
 根を張って 芽を出す力 筍よ (津和野町 藤井 礼子さん)  
 まるまると 太った筍 くれる笑 (津和野町 高谷喜里栄さん)  
 旬の春 筍ごはんを 古古米で (津和野町 日熊 春子さん)  
 竹藪へ イノシシ急ぐ 初筍 (津和野町 古山 包子さん)  
 戦事中 筍生活 非に お理り (吉賀町 田村 民子さん)  
 想い出す「たけのこほりに きんさくい」 (吉賀町 中村恵己子さん)

上記作品の中から、あなたのお気に入りの句を選んで、作品応募の際に「〇〇さんの句」と作者を明記してください。最も多くの方に評価された作品を翌月のこのコーナーで紹介させていただきます。  
 ※複数送句される場合は掲載希望順に記載してください。

応募方法 ●葉書に 俳句か川柳かを明記してください。住所、氏名、電話番号、『〇〇さんの句』と作者』をご記入ください。  
 ●あて先 〒698-0024 益田市駅前町15-1 JAしまね 西いわみ地区本部 企画総務部 総務ふれあい課



水稲用一発肥料には**プラスチック**が使われています

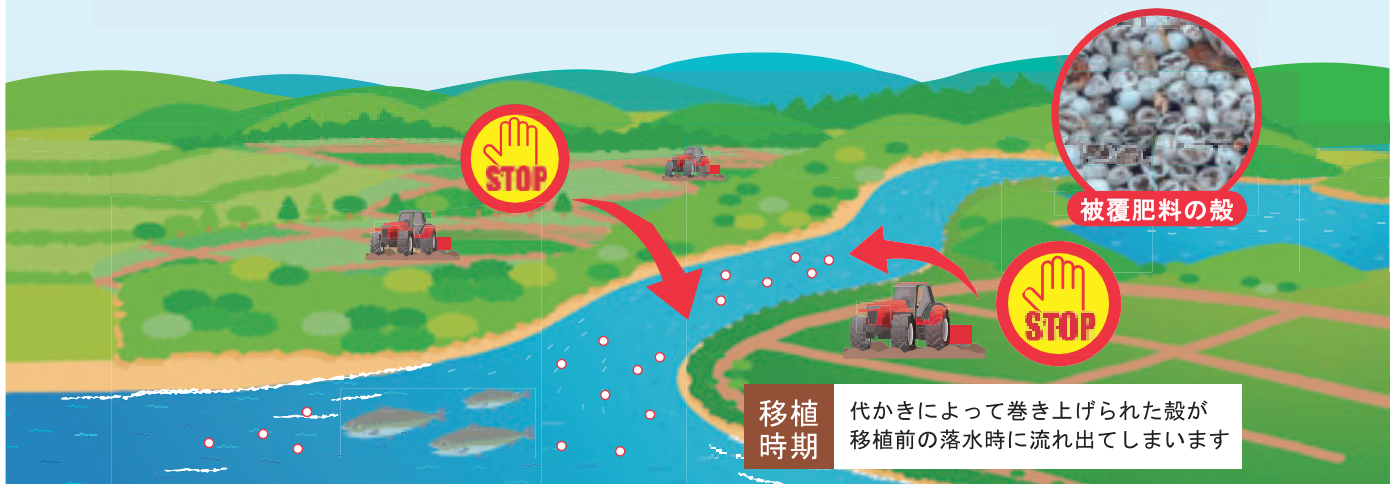
# 水田から流出させない

## 対策

# をお願いします

被覆肥料は、**プラスチック**等で肥料をコーティングしているため、肥効の調節が可能です。施肥回数減による軽労化、施肥量の削減、養分の流出防止などの利点がありますが、一方で肥料成分が溶出した後の被膜殻が河川や海へ流出することが問題になっています。

## 被覆肥料のプラスチック殻は 水田から流出させないようにしましょう！



**移植時期** 代かきによって巻き上げられた殻が移植前の落水時に流れ出てしまいます

### <製造メーカー・全農による共同研究・開発について>

- ①環境にも配慮するため、光や微生物の働きにより土壌中に崩壊・分解しやすくなるように各メーカー工夫をしていますが、分解するまでかなりの時間がかかります。
- ②より速やかに分解させる技術の確立を目指し、メーカーと協力して研究開発に取り組んでいます。





二重マスの文字をA～Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか？

出題 ● ニコリ

1	7	10			17	20
		E				
2				15		
						D
3			13			
	8	11			18	
				B		
4		12			19	21
5	9				16	
6			14			
						C

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

タテのカギ

- ①女性同士のきょうだい
- ④トシューズをはいて踊ります
- ⑦風呂場でお湯をためるところ
- ⑨太古から人間に飼われている動物
- ⑩表の反対側
- ⑪端午の節句に——餅を食べた
- ⑬日本三大祭りのひとつ、——祭。東京で5月におこなわれます
- ⑮——ベース、アット——
- ⑯釣り人がじっと見るもの
- ⑰川を渡るためにかけます
- ⑱そろそろ行かないと！ タイム——だよ
- ⑳Sが小ならMは
- ㉑5月4日は——の日。国民の祝日です

ヨコのカギ

- ①端午の節句に風呂の湯へ入れます
- ②変わると寝つけない人もいます
- ③岩の多い海岸のこと
- ⑤現在の元号です
- ⑥アルファベットの14番目
- ⑧安、実、宝に共通の部首
- ⑫漢字では羊歯などと書く植物
- ⑬車のこと。——ナビ
- ⑭つくね、ハツ、砂肝といえは
- ⑮キャッチャーともいいます
- ⑯ゴルフクラブの種類のひとつ
- ⑰童謡「ぶんぶんぶん」で飛ぶもの
- ⑱ウサギのものは長め

応募要項

応募方法

ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。右記の二次元コードからもご応募いただけます。



賞品

正解者の中から抽選で30名（JAしまね全体）の方に「農協全国商品券」をお贈りします。

当選者発表

賞品の発送をもってかえさせていただきます。

宛先・締切

〒698-0024 益田市駅前町15-1

JAしまね 西いわみ地区本部 総務ふれあい課 「クイズ」係  
2026年5月1日（金）（当日消印有効）

・先月号は、西いわみ地区本部管内で84人の方からご応募いただきました。

先月号の答え

「ハナフキ」

ア	ブ	ラ	ナ	サ	エ
サイ	ク	ワ	サイ	フ	
リ	セ	リ	ク	ダ	
	カイ	キ	ヨ		
キ	ミ	シ	ミ	レ	
ハ	ナ	ミ	キ	ブン	
ソ	リ	ヤ	リ	ナ	ゲ

川柳の広場

最優秀賞

平凡な二膳の箸に日々感謝

出雲市 多久和敬子様

選句者 島根県川柳連盟会長 竹治ちかし先生

（評）何も口にはしないのだけど、食事にいつも二膳の箸が並ぶことに、感謝しているのである。平凡な幸せである。

優秀賞

来てうれし帰ってうれし孫たちよ

浜田市 上埜 敏実様

勝てませぬ自然の力とカミヤんにや

出雲市 佐藤 晃一様

一輪の老梅心洗われる

出雲市 佐野美和子様

佳作

なにくそとまだまだ続く我の道  
隠岐の島 上川 晃一様  
各々の想い織りなすターミナル  
安来市 青戸 涉様  
人間にいい味が出る高齢期  
出雲市 北村 功様  
朝迎えカバンに夢を天こ盛  
松江市 後藤 竹子様  
歳ひとつ増えて寿命がひとつ減り  
浜田市 日原 隆様

「家の光」でも俳句・川柳・詩・短歌を毎月募集しています。こちらへもぜひご応募ください！

「家の光」5月号定価 900円  
ご購入は、お近くのJAへお問合せください。



JAしまねびよりは、皆様からの俳句・川柳を募集しています。締切は毎月14日必着です。（最優秀賞1句、優秀賞3句、佳作5句）5月号は俳句を募集します。1回のご応募につきお一人様3句までご応募いただけます。

応募方法  
俳句または川柳、住所、氏名、年齢、電話番号を記入のうえ、ハガキ、FAX、Eメールのいずれかでご応募ください。  
※応募作品は自作で未発表のものに限ります。  
※応募作品の一切の権利は、JAしまねに帰属するものとします。  
※受賞作品は地域名、氏名（または雅号）を掲載します。

あて先  
〒690-0887 松江市殿町19-1  
JAしまね ふれあい広報課  
「俳句の広場係」または「川柳の広場係」  
FAX：0852-67-7708  
Eメール：fureai.hon@ja-shimane.gr.jp

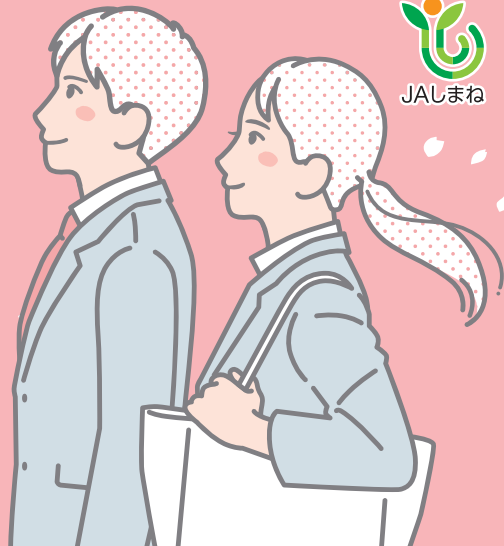


最優秀賞、優秀賞の4名様には「農協全国商品券1,000円分」をお贈りします。

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送のみに使用し、その他の目的で利用することはありません。



島根をもっと元気になりたい  
一緒にJAで  
働きませんか



JALしまねは「農業振興」「地域振興」「地域貢献」を積極的に展開し、大地の恵みと食文化の尊さを次世代に継承していきます。

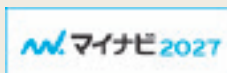
## JALしまね 令和9年4月採用職員募集のご案内

- 募集職種 正職員
- 応募資格 ①令和9年3月大学院・大学・短大・高専・専修学校卒業見込の方  
②大学院・大学・短大・高専・専修学校を卒業して3年以内の方
- 受付期間 令和8年4月1日(水)～令和8年5月31日(日)
- 選考方法 WEB上での筆記試験・適性検査・面接試験
- 応募方法 マイナビ2027よりエントリーください。

※採用情報など詳しくは  
JALしまねHP、マイナビ2027または  
下記までお問い合わせください。

### お問い合わせ

〒690-0887 島根県松江市殿町19-1  
JALしまね人事部人事課  
担 当：塩野・笹山  
T E L：0852-67-7711  
F A X：0852-67-7714  
ホームページ：https://ja-shimane.jp  
E-mail：jinji\_saiyou@ja-shimane.gr.jp



マイナビで  
エントリー  
受付中



# シロアリ警報！床下無料調査実施中！！

初夏は羽アリが出る季節。  
気付かないうちに  
住みついていくかも。  
早めの防除が  
あなたの家を守ります。



<p><b>取扱業者</b></p> <p>(公社) 日本しろアリ対策協会正会員 会員番号 島根県 002 会員番号 鳥取県 002</p>	<p>JAL全農基本契約業者「株児五商会」特約施工店</p> <p><b>株式会社 コタマサイエンス</b></p> <p>(本社) 〒690-0048 島根県松江市西嫁島2丁目8-23 <a href="https://www.kodama-s.co.jp">https://www.kodama-s.co.jp</a></p>	<p>松江営業所 TEL 0852-26-6757 出雲営業所 TEL 0853-31-9600</p> <p>益田営業所 TEL 0856-22-5390 江津出張所 TEL 0855-52-6852</p> <p>隠岐営業所 TEL 08512-2-2471</p>
--	---	---

**シロアリの予防・駆除は、確かな実績と安心のJAにご相談ください。**  
床下の無料調査は、JALしまね取扱業者(株)コタマサイエンスが訪問いたします。



お問い合わせは、最寄のJA各支店へ。

# 島根うまれの食材レシピしまねうレシピ

## レンジで丸ごと!新玉ねぎの豚肉ときのこの酒蒸し

**材料 (4人分)**  
 新玉ねぎ…………… 3個(400g)  
 しめじたけ…………… 1袋  
 豚小間切れ…………… 200g  
 酒……………大さじ3  
 (フライパンで調理100cc)  
 塩こしょう…………… 3〜4振り  
 A [ ポン酢……………大さじ2  
 オイスターソース…小さじ1  
 カツオパック…………… 1袋(3g)  
 細ねぎ…………… 2本

**作り方**  
 ①新玉ねぎは上下を切り落として皮をはぎ、上の方から6等分になるよう切り込みを入れ、下1/3はつながったままにしておく。  
 ②皿の中央に玉ねぎを3個置き、その周りにしめじたけと豚肉を広げて並べ入れ、酒をかけて、塩こしょうを振る。  
 ③軽くラップをして、レンジ(500w)で10分間加熱する。(又はフライパンに同じように入れ、沸騰するまでは強火で、沸騰したら弱火にして、玉ねぎが柔らかくなるまで蓋をして蒸し焼きにする)  
 ④肉にしっかりと熱が通っているか確認してから、混ぜ合わせたAを全体にかけ、最後に玉ねぎの上にカツオと小口切りにした細ねぎを飾る。



**コメント**  
 ・レンジで簡単!甘くてとろろの新玉ねぎは酒蒸しならではのうまさです!  
 ・3〜5月が旬の新玉ねぎは、生でも辛味がマイルドで食べやすく、加熱すると甘みがグッと引き立ちます。  
**アレンジ**  
 ・肉の代わりにツナ缶やベーコンでも美味しくできます。  
 ・熱々の玉ねぎの上にバターやとろけるチーズをのせて、パワーアップ!

## 味噌ラーメン風豚汁

**材料 (4人分)**  
 豚小間切れ…………… 200g  
 A [ ジャガイモ …… 1個(140g)  
 にんじん… 1/2本(60g)  
 チンゲン菜… 1株(250g)  
 もやし…………… 1/2袋  
 B [ 水…………… 800cc  
 生姜(すりおろす) ……ひとかけ  
 にんにく(すりおろす)…ひとかけ  
 中華だし(顆粒)…小さじ1  
 味噌……………大さじ2  
 しょうゆ……………大さじ1  
 ラー油……………お好みで  
 唐辛子……………お好みで

**作り方**  
 ①じゃがいも、にんじんは皮をはいで食べやすい大きさに切る。チンゲン菜は軸と葉の部分に分けておく。  
 ②鍋にごま油を熱し、食べやすく切った豚肉を炒め、色が変わったら、Aの材料(チンゲン菜は軸だけ)を加えて軽く炒める。  
 ③油がまわったら、Bを加えひと煮立ちしたら弱火にし、蓋をして野菜が柔らかくなるまで煮る。  
 ④アクが出たらすくい取り、もやしとチンゲン菜の葉先を加え、ひと煮立ちしたら火を止め、しょうゆと味噌を溶き入れる。  
 ⑤器に盛り、お好みでラー油か唐辛子を振る。



**コメント**  
 ・まるでラーメン!?ボリュームが欲しい時の汁にぴったりです!  
 ・しょうゆと味噌は火を止めてから加え、風味をしっかりと残しましょう。  
**アレンジ**  
 ・白菜、キャベツ、えのき、きくらげ、玉ねぎ、ねぎ、にら、大根、トマトなど季節の野菜を組み合わせて!  
 ・中華麺やそうめん、うどん、餃子の皮を加えたり、雑炊にしたりしても美味しいです。

しまねびより

本誌は地球環境に優しい植物性インキを使用しております。  
 VEGETABLE OIL INK

JALしまね  
 公式ホームページ  
 JALしまね  
 検索



## 健康散歩 For Your Health 新生活に知っておきたい おたふくかぜ

JA島根厚生連

冬の寒さがやわらぎ、暖かい日が増えてきました。新年度が始まり、新しい環境での生活がスタートした方も多いのではないのでしょうか。慣れない環境では、知らず知らずのうちに体も心も頑張りすぎてしまうことがあります。疲れがたまると免疫力が低下し、感染症にかかりやすくなります。  
 今回は、感染症の一つである「流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)」についてご紹介します。  
 おたふくかぜは、ムンプスウイルスによっておこる感染症です。主に3〜4歳の子どもの多いですが、大人が感染することもあります。大人の場合は症状が強く出ることがあり、合併症も起こしやすいといわれています。  
 おたふくかぜは、耳の下にある「耳下腺」という唾液を出す組織が腫れることが特徴です。主な症状は、耳の下やあごの腫れ・痛み、発熱、食べ物を噛むときの痛み、頭痛、倦怠感、食欲不振です。通常1〜2週間で症状が軽減しますが、髄膜炎、精

巣炎、難聴などを合併することがあるため注意が必要です。  
 感染は、飛沫感染(咳、くしゃみ、会話)や接触感染(ウイルスがついた手で口や目を触る)で広がります。発症の約2日前から、耳下腺の腫れが治まるまで(通常5〜7日程度)周囲にうつす可能性があります。  
 おたふくかぜには特効薬がなく、治療は症状を和らげる対症療法が中心です。感染を予防するために、手洗い、うがい、マスクの着用、タオルの共有を避けるなどの基本的な感染対策を行いましょう。また、予防接種も有効で、かかったことがない方は2回の予防接種を受けることがすすめられています。  
 おたふくかぜは、1年を通してみられますが、春から夏にかけてやや増える傾向があります。新生活で疲れが出やすい時期でもありますので、十分な休養をとり、日頃の感染対策を心がけましょう。無理をせず、元気に新年度をスタートさせたいですね。



【編集後記】新年度が始まり、新しい環境に身を置かれる方も多いと思いますが、皆様いかがお過ごしでしょうか?私もこの3月に広報担当となり、今号より編集に携わることとなりました。島根の農業のことやJAの取り組みなど、皆様に楽しく知っていただけるよう努めてまいりますので、今後とも「しまねびより」をよろしくお願いたします☺(児)

2026年4月15日付発行(月1回発行)  
 編集/JALしまね ふれあい広報課・西いわみ地区本部 総務ふれあい課  
 発行/島根県農業協同組合 西いわみ地区本部  
 〒698-0024 益田市駅前町15-1 TEL.0856-22-1589 FAX.0856-23-0788